

今後の取組にむけて

ステークホルダー・市民合同会議（4月15日）

- * 「ステークホルダー・市民合同会議」では、「ステークホルダー会議」の参加者と「市民会議」の参加者とが一堂に会し、市民会議で決定したシナリオをもとに参加者全員で討議し、最終的な「しみん提案（骨格）」をとりまとめます。この際、「市民会議」で決定したシナリオの名前を意見交換の上、お決めいただきます。

市民会議で決定したシナリオに対して、ステークホルダー会議の参加者の皆さんからご意見はいただきますが、シナリオ内容が変更されることはありません。

- * 今回の参加型会議（ステークホルダー会議＋市民会議）について振り返りを行い、会議に関する意見交換を行います。
- * この会議で取りまとめられた「しみん提案（骨格）」は、参加型会議参加者による議論の成果として、「なごや循環型社会・しみん提案会議」実行委員会から対外的に発表されます。

今後の活動について

- * 「しみん提案（骨格）」が取りまとめられた後は、大きく分けて2つの活動、「深堀の議論」と「220万市民への発信」を行います。

「深堀の議論」

「しみん提案（骨格）」に盛り込まれた方向性や取組の中で、特に重要なもの、早急に取り組むべきもの等を対象に議論を深める活動です。この活動には、「なごや循環型社会・しみん提案会議」の参加者はもちろん、テーマに関心のある方ならどなたでも議論に参加することができます。（テーマの当事者や専門家など）

「220万市民への発信」

「しみん提案（骨格）」について広く情報発信すると同時に、提案に対する名古屋市民の意見を聴く活動です。名古屋市内数ヶ所でワークショップを開催し、できるだけ多くの市民の率直な意見をいただく予定です。

- * これらの活動で得られた情報は、「しみん提案」に参考資料として添付され、平成19年の秋に対外的に発表します。

今後の取組のイメージ図

